セキュリティ対策 ・ 個人向け

# フィッシング詐欺を無力化する5原則



## 見分ける力より、「引っかからない仕組み」を。

今日から無理なく始められる、身を守る実践方法

出典: wnkhs.net(2026.11.18)

現状

# フィッシング詐欺は「見分けるゲーム」になってしまった

## かつて

- 日本語がおかしい
- 怪しいURLが使われている

→ **比較的見分けやすかった**

## いま

- 企業のロゴやデザインをそのまま真似たメール
- SMSやSNSのメッセージを使った手口が増加
- 生成AIの普及で不自然な日本語が減少

見分けることを前提にした対策には限界がある。 **危険にそもそも近づかない。**

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

5原則の全体像

# まずは覚えたい「無力化する5原則」

## 運用ルール

1. メールやSMS、メッセージのリンクは押さない
2. 検索結果のスポンサー広告は押さない
3. 公式アプリを利用する

## 心構え

4

### あわてない

焦った瞬間がもっとも危険

## 予防策

5

### パスキーを活用

被害そのものを防ぐ

**多すぎると覚えられない。「無理せず実施できること」に重きを置きます。**

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

運用ルール 1

# メールやSMSのリンクは押さない

もっとも効果が高い対策

多くの目的は、利用者を偽サイトへ誘導すること。
**リンクを押さなければ被害につながりません。**

## 対象はすべて同じルールで考えます

- SMS
- LINE
- SNSのDM
- チャットアプリ
- メッセージアプリ

本当に重要な通知は、公式アプリや公式サイトでも確認できます。

## どうしても押さなければならないとき

AIにメール全体を見せて、次を確認させるとよいかもしれません。

- 不自然な日本語
- 緊急性を煽る表現
- フィッシングでよく使われる文言
- URLの不自然さ

**AIの回答は間違いを含むこともあります**

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

運用ルール 2

# 検索結果のスポンサー広告は押さない




### 広告枠は、常に安全とは限らない

検索結果の上部の広告はお金で買える場所。悪意を持って上位表示させることも可能です。

### 実際に誘導事例が報告されている

詐欺サイトや偉サポートサイトが、広告を利用して利用者を誘導した事例です。

### 「スポンサー」「広告」の表示はルール化

公式サイトは、広告枠ではなく下の自然検索の結果から選びます。

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

運用ルール 3

# 通知を見たら、公式アプリを開く

届いた通知
**SMS「荷物をお届けできませんでした」**

リンクは押さない

**配送会社のアプリを開いて確認**
ECのアプリからでもOK

届いた通知
**メール「不正利用を検知しました」**

リンクは押さない

**カード会社のアプリで確認**
メールのリンクは使わない

## 公式アプリの例

Amazon / 楽天 / PayPay / 銀行アプリ / カードアプリ / 配送会社アプリ

この習慣が身につくと、詐欺サイトへ誘導される機会そのものが激減します。

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

心構え ＆ 予防策

# 焦らない。そして、パスキーで被害を防ぐ

## 4 焦らない

焦った瞬間がもっとも危険

**相手が使う、焦らせる文言**

- 「本日中に対応してください」
- 「至急ご確認ください」
- 「アカウントが停止されます」
- 「不正利用を検知しました」
- 「本人確認が必要です」

**まず一呼吸。数分経っても状況はほとんど変わりません。**

## 5 パスキーを活用

被害そのものを防ぐ

パスワードの代わりに、スマホやパソコンの認証機能を利用する仕組み。

- **パスワードの使い回しを防げる**
- **パスワード漏えいの影響を受けにくい**
- **入力ミスが減る**

**絶対の防御ではありません。多要素認証も併用しましょう（こちらも過信は禁物）。**

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

手口一覧

# こんな手口にご用心。危険を感じるヒント

| よくありそうな手口 | 危険度 | 対処法 |
| --- | --- | --- |
| メールでログインを求められる | ●●●●● | 自分で公式サイトへアクセス |
| SMSで本人確認を求められる | ●●●●● | アプリで確認する |
| クレジットカード利用停止通知 | ●●●●● | カード会社アプリを確認 |
| 銀行口座の利用制限通知 | ●●●●● | 銀行アプリを開く |
| 宅配の再配達案内 | ●●●●● | 配送会社アプリを確認 |
| パスワード変更要求 | ●●●●● | メールから変更せず、自分でログイン |
| 検索広告へ誘導する | ●●●●○ | 広告枠を避ける |
| サポートセンターへの電話誘導 | ●●●●○ | 公式サイトで番号を確認 |

「見分ける表」ではなく、「危険を感じるヒント」として活用しましょう。（記事の一覧から一部を抄録）

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)

# 本当に大切なのは「見分け方」ではなく「近づかないこと」

1. メールやSMSのリンクは押さない
2. 検索広告は押さない
3. 公式アプリを使う
4. 焦らない
5. パスキーを活用する

**「引っかからない仕組み」を、自分の中に作っておきましょう。**

出典: wnkhs.net「フィッシング詐欺を無力化する5原則」(2026.11.18)